

連載第11回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員
たけのうち猛
<ご相談・ご連絡先>
公明党金沢支部事務所:
金沢区富岡西3-38-1-101
TEL: 080-9804-9782
FAX: 045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

熊本地震の教訓②
がけ地の防災対策を考える

4月14日から

始まった熊本地震は、2ヶ月近く経った現在も活発な余震活動が続いており、予断を許さない状況が続いております。あらためて被災者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。
Q.土砂崩れによる被害も深刻

です。

A.横浜市では市内約9800か所のがけ地について、平成26年度から29年度までの4か年で、現地調査を行っています(金沢区内は昨年終了)。現地調査により得られた詳細な情報は、「がけ地のカルテ」としてまとめられていますので、これを基に、大雨や台風、地震等のがけ崩れが発生するおそれや、崩れ

た土砂が家屋等に影響する範囲などをあらかじめ想定し、的確な避難勧告対象区域の選定を進めるとともに、がけ地の所有者が行う改善に繋げて参ります。

Q.具体的な対応はどうでしょうか。
A.神奈川県が指定した急傾斜地崩壊危険区域においては、順次崩壊防止工事を行っているところですが、それ以外の個人の所有するがけ地についても、一定の条件のもと、横浜市による改善のための補助金制度があり、「がけ地防災対策工事助成」では工事費の3分の1以内で最大400万円、「がけ地減災対策工事助成」では対策工事の工法により、

50万~100万円を限度とする助成を行っています。

※詳しくは横浜市建築局建築防災課・がけ防災担当まで。
☎045(671)2948

Q.積極的に活用して頂きたいですね。
A.ただし、こうした工事は、発生頻度の高い「表層崩壊」から人命を守るためのものです。大規模地震や長期間に渡る降雨などにより発生することのある「深層崩壊」までを対象にしたものではなく、絶対に安全という訳ではありません。気象情報や災害関連の情報に注意し、危険を感じたらすぐに安全な場所に避難することが大切です。